

令和 6 年度事業報告

1. 事業概要

「第 2 期中期計画」（令和 6 年度～10 年度）に基づき、“会員の拡大”、“就業機会の拡大”、“安全・適正就業対策の推進”、“運営体制の強化・充実”を柱として事業を推進してまいりました。新型コロナウイルスも令和 5 年 5 月に感染症法上「5 類感染症」に位置付けられ、基本的対処方針が個人の判断によることとされ、日常の生活も例年並みに戻りつつあります。しかしながら、「働き方改革」等により 65 歳までの雇用確保義務と 70 歳までの継続雇用の努力義務により、入会する会員は減少しています。

また、令和 5 年 10 月のインボイス制度、令和 6 年 11 月のフリーランス法とシルバー人材センターを取り巻く状況は目まぐるしく変化し、先行きが不透明な中でも、シルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は、一層大きなものになっています。

受託事業収益は、当初予算で 90,000 千円、決算で 103,293 千円と 13,293 千円の増額となり 114.8%の達成率でした。件数及び契約金額は前年度と比較して、公共事業では 2 件増加し、4,707 千円の増額となり、一般企業等では 14 件増加し、2,852 千円の増額となりました。個人・家庭では 113 件増加し、6,929 千円の増額となり、全体では件数が 129 件増加し、契約金額は 14,487 千円の増額となり、前年比 16.3%の増加となりました。特徴としては、作業単価の見直しにより増額改定したことが大きな理由かと思われます。また、公共事業では本郷体育館・運動場の施設管理が増員となったこと、一般企業等では、J A の選果場の業務量が増加したこと、また降雪量が多く社会福祉協議会事業の除雪作業依頼が増加したことなどが主な要因です。

労働者派遣事業につきましては、インフルエンザやコロナの感染防止措置により休業を余儀なくされたり、会員を派遣できずに就業を打ち切られたり、契約金額は前年度と比較して、2,939 千円の減額となり、受取手数料も 376 千円の減額となりました。

2. 事業実施状況

令和 6 年度設定	目 標	実 績	達成率
会員数	238 人	210 人	88 %
		(233 人)	
受注件数	1,400 件	1,335 件	95 %
派遣件数	11 件	9 件	82 %
契約金額	90,000 千円	103,293 千円	115 %
派遣契約金額	20,500 千円	16,691 千円	81 %
就業実人員	219 人	203 人	93 %
就業延人員	20,500 人	20,581 人	100 %
派遣延人員	5,500 人	4,112 人	75 %
就業率	92.0 %	87.1 %	85 %
安全就業（事故件数）	0 件	4 件	

※会員数の実績（ ）書は、年度内会員数

(1) 会員の拡充と資質の向上

経験豊富な会員の確保を図るため、町の広報誌や県シ連の広報活動による入会情報の提供により、毎月入会説明会を開催し、シルバー人材センター事業について理解を深めていただき、会員の拡大に努めました。

また、入会動機のほとんどが会員知人の紹介となっていることから、会員の口コミによる勧誘を強化するため、紹介会員に商品券を配布し拡充を図りました。しかしながら思うような結果には至らず、件数は1件でした。

会報や事務局だより、そして無料アプリLINEへの登録を推進し、センターの基本理念（自主・自立、共働・共助）、適正就業について周知し、組織の構成員としての意識及び地域社会からの信頼を高めるよう努めました。

なお、新入会員は16名で退会の会員は23名でした。主な退会理由は、加齢及び体調不良が約半数を占め、転職による退会は1名でした。音信不通で会費未納による退会も6名ありました。

(2) 就業機会の確保・拡大

ハローワークとの連携により「シニア向け求人情報」の提供をいただき、掲示板にて会員に周知するとともに、就業開拓委員会によりJAのイベントでリーフレットやパンフレットを配布し、情報の収集など就業機会の拡大に努めました。

会員の就業については、平等に就業機会の情報を提供するため、LINEへの登録を推進しましたが、登録者は89名と横ばい状態です。

技能を必要とする就業については、技能講習会を開催し、高齢者が様々な分野で活躍できるよう、また後継者の育成にも力を注ぎ会員間の情報交換に努めました。

(3) 安全・適正就業の推進

日頃からの安全意識が事故を防ぐことから、「安全声掛け運動・各種講習会への参加」等、体力・運動能力に合わせて仕事をするよう安全就業の推進に努めました。自分の健康は自分で守ることを心がけ、町の健康診断の受診促進や健全な状態で就業するよう啓発してまいりました。しかしながら、事故の件数は減少傾向にあるものの、賠償事故については自動車のガラス破損やケーブル線の切断など、多額の賠償となるケースが増えてきており、保険の補償内容について見直しが求められています。

また、会員間の技術格差の解消、安全対策の確認のため、庭木の剪定、松の雪吊り、網戸の張替え、梅の木・柿の木の剪定等各種講習会を開催し、各会員の技術力をみがくとともに、安全就業の徹底を図り質の高いサービスを提供することができました。

適正かつ公平な就業機会の提供を確保するため、グループ就業やローテーション就業、就業制限等について協議しました。高齢者の運転事故が多くみられることから、安全確保のために運転業務については満80歳の年齢制限を設けました。就業できる会員の確保など、うまく機能するための課題の洗い出しに努めました。長年同一職場に勤務することを制限することは、ローテーション就業が定着していないため、就業制限が会員へ与える影響は大きいものがあり、見直しには至りませんでした。

(4) 普及啓発の促進

ホームページの充実と会報「シルバーあいづ美里」(第21号、第22号)の発行、また町広報誌に会員募集の広告を掲載し、地域社会に向けてシルバー人材センター事業の周知に努めました。

会員に向けての情報発信は、LINEのほか「事務局だより」を発行し、シルバーの活動状況や注意事項等について周知を図りました。

デジタル化社会へ対応するとともに、業務運営の効率化とセンター業務の情報共有のために、スマホを活用した会員のマイページを創設しました。

(5) 労働者派遣事業の取り組み

働き方改革の一環として労働時間法制の見直しがあり、令和元年より有給休暇を付与し、令和2年には通勤手当を支給しました。有給休暇の賃金は派遣事業所負担となるため、受取手数料は実質半分程度になっています。有給休暇の付与日数について精査するよう県シ連から指導がありました。

介護業務など人手不足分野において、就業者に欠員が生じ、新たな就業者を確保できず契約解除となりました。契約金額も前年比85.0%と減少し、コロナ前の令和元年度と比較すると68.3%まで減少しています。

会員の希望職種と発注者からの依頼内容をマッチングさせ、高齢者が当該分野の担い手として活躍できるよう取り組みましたが、希望する会員を派遣するに至りませんでした。

(6) 管理運営の充実

公益社団法人として法令遵守(コンプライアンス)に基づき運営を推進し、内部監査はもとより、税理士による外部監査を実施しています。

令和5年10月に導入されたインボイス制度(適格請求書等保存方式)については、全国のシルバー人材センターと足並みを揃えて、令和5年度より県シ連の指導のもと事務手数料を10%から12%とし、準備を進めてまいりました。また、契約金額が下降線をたどっていましたが、業務量の増加に伴い契約金額が増加になったものもありますが、多くは作業単価の見直しにより契約金額が増額になり、より安定した事業運営ができたものと思われます。

令和6年11月に「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」(いわゆる「フリーランス法」)が施行されました。シルバーの会員が特定受託事業者に該当することから、この法律の保護を受け、安心・安全に就業できる環境を整備するため、令和7年4月から発注者、センター、会員による三者間の包括的契約関係となるよう契約方法を見直しました。

オンラインによる研修会に参加するなど、役員及び事務局職員の資質の向上に努めるとともに、会員のLINE登録により事務の効率化が図られています。

3. 主要な会議並びに行事等の報告

名 称	実施年月日	主な内容
定時総会	令和6年5月28日	令和5年度事業報告承認の件 令和5年度決算報告承認の件（監事の報告） 役員（理事・監事）選任の件 令和6年度事業計画の報告 令和6年度収支予算の報告 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みの報告
理事会 ・第1回理事会	令和6年5月1日	議案 正会員入会承認の件 令和5年度事業報告承認の件 令和5年度決算報告承認の件（監査報告） 役員（理事・監事）選任の件 総会表彰者の件 報告 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告 令和5年4月～令和6年3月分事業実績報告 その他 互助会の定時総会資料について
・第2回理事会	5月28日	議案 理事長、副理事長及び常務理事の選出の件
・第3回理事会	6月25日	議案 正会員入会承認の件 合同委員会開催の件 報告 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告 月別事業実績報告
・第4回理事会	9月13日	議案 「シルバーの日」取り組みの件 新たな契約方法への移行時期の件 最低賃金改定の件 報告 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告 事故報告 月別事業実績報告 その他 互助会研修旅行について

名 称	実施年月日	主な内容
・ 第 5 回理事会	令和7年1月17日	議案 正会員入会承認の件 フリーランス新法への対応の件 定款第4条第1号に掲げる事業の契約に関する規程の件 報告 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告 事故報告 上半期監査報告 月別事業実績報告 その他 作業単価改定における疑義等 会員増への取組み 運転業務に従事する会員の年齢制限
・ 第 6 回理事会	3月12日	議案 正会員入会承認の件 事務費規程の一部改正の件 配分金規約の一部改正の件 役員等費用弁償規程の一部改正の件 職員給与規程の一部改正の件 役員賠償責任保険の件 令和7年度事業計画の件 令和7年度収支予算の件 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みの件 報告 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告 月別事業実績報告

名 称	実施年月日	主な内容
委員会活動 ・ 安全・適正就業委員会 ・ 普及啓発委員会 ・ 就業開拓委員会 ・ 交流研修技能開発委員会 ・ 役員選考委員会	令和6年7月29日 9月12日 令和7年1月28日 令和6年7月29日 8月8日 令和7年1月31日 令和6年7月29日 9月7日 令和6年7月29日 8月27日 令和7年3月19日 令和6年4月15日	委員会活動計画 巡回指導・安全パトロール 運転業務における年齢制限、安全標語募集 委員会活動計画 会報（第21号）編集 会報（第22号）編集 委員会活動計画 広報活動（JAまつり） 委員会活動計画 互助会活動協議（研修旅行、新年会） 委員会次年度活動計画 役員候補者選考結果の報告
監査及び外部監査	令和6年4月23日 10月23日	事業・会計監査 上半期監査
入会説明会	毎月第2火曜日 及び随時	入会希望者への入会説明（全12回） 説明会参加者 22名
技能講習会 ・ 庭木剪定 ・ 網戸張替え ・ 松の手入れ ・ 松の雪吊り ・ しめ縄づくり ・ 果樹剪定	令和6年6月28日 7月26日 8月2日 11月8日 12月10日 令和7年2月27日	受講者数 11名 受講者数 12名 受講者数 11名 受講者数 7名 受講者数 18名 受講者数 22名

名 称	実施年月日	主な内容
県シ連・東北シ連 県、町	令和6年6月18日 7月5日 7月23日 9月2日 10月25日 10月29日 11月11日 11月13日 11月14日 11月25日 令和7年2月12日 2月14日	県シ連定時総会（福島市） 事務局長会議（オンライン） 安全・適正就業推進大会（会津若松市） 東北シ連理事長等役員、事務局長合同研修会 公益法人制度説明会（福島市） 事務局長会議（オンライン） 町財政援助団体監査 県商工労働部雇用労政課立入検査 県シ連指導事業 理事長等役員・事務局長交流研修会（～26日） 事務局長会議（オンライン） 経理担当者会議（オンライン）
全会津SC協議会	令和6年7月25日 8月22日 12月12日 令和7年2月19日	事務局長会議（会津若松市SC） 通常総会（会津若松市 ホテルいずみや） 役員等研修会（会津若松市、～13日） 職員研修会（会津若松市）
その他	令和6年10月15日 10月18日 令和7年1月24日 毎月第3火曜日	「シルバーの日」ボランティア活動 参加者42名 互助会研修旅行（塩釜方面）参加者33名 互助会新年会（にんじん湯・吹上荘）参加者42名 ミセス倶楽部活動

事業報告附属明細書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。